

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は、ありません。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残額
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
地域文化伝承館開催費用積立資産	500,000	0	500,000	0
小 計	500,000	0	500,000	0
合 計	10,500,000	0	500,000	10,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
特定資産				
小 計	0	(0)	(0)	—
合 計	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	8,015,424	7,471,794	543,630
合 計	8,015,424	7,471,794	543,630

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営補助金	富山県	-	810,000	810,000	-	-
活動推進補助金	富山県	-	5,916,000	5,271,000	645,000	流動負債
健康づくり支援事業補助金	富山県	-	2,000,000	1,559,521	440,479	流動負債
訪問支援活動支援事業補助金	富山県	-	4,675,000	4,675,000	-	-
地域文化伝承館開催支援事業補助金	富山県	-	23,302,000	23,302,000	-	-
助成金						
共同募金助成金	富山県 共同募金会	-	400,000	400,000	-	-
合 計		-	37,103,000	36,017,521	1,085,479	

7. 重要な後発事象

重要な後発事象は、ありません。